

主治医氏名		印	
主治医以外の 担当者氏名	担当医師		
	看護師長	担当看護師	
	管理栄養士	リハビリテーション部	
病名	両・右・左 変形性股関節症・大腿骨頭壊死・その他 ()		
症状	股関節痛・歩行困難・その他 ()		
手術	あり		
特別な栄養管理の必要性	(あり ・ なし)		
入院治療の目標 (達成目標)	歩行が安定し、セルフケアできる 退院後の生活の注意点が理解できる		

・抗生剤の点滴をします。・手術室より痛み止めの点滴が始まります。 使用方法は看護師が説明します。

【患者または代理者同意署名】

年 月 日 氏名

*代理署名の場合 患者との続柄 ()

推定入院期間	入院日～手術前日	手術日 (/)		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～7日目	手術後8日目～14日目	手術後15日目～21日目(退院)
	(/)	手術前	手術後	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/ ~ /)
注射・内服	・入院中に薬剤師による注射薬、内服薬についての説明があります。 ・飲み薬、目薬、軟膏、点鼻薬など、入院前から服用している薬がある場合、お薬手帳と合わせて確認します。	・点滴や注射をすることがあります。 ・医師の指示により指定した時間に看護師がお渡しする薬だけ内服します。	・抗生剤の点滴をします。 ・手術室より痛み止めの点滴が始まります。使用方法は看護師が説明します。 ・特にありません。	・抗生剤の点滴をします。 ・採血結果を確認し、医師の指示により点滴は終了予定です。 ・医師の指示により飲み薬を再開します。痛みに合わせて痛み止めの薬がありますので、我慢せずに看護師に声をかけて下さい。	・特にありません。 ・夕食後から血栓を予防する薬を10日間内服します。	・特にありません。	・特にありません。 ・手術後11日目に血栓を予防する薬は飲み終わります。	・特にありません。 ・必要に応じて薬剤師が退院後の薬剤指導を行います。退院時に必要な薬があれば医師、看護師に相談して下さい。
検査	・採血をします。	・特にありません。	・手術室で採血をします。	・採血をします。	・採血をします。	・手術後4日目に採血をします。 ・手術後7日目に採血と股関節のレントゲンを撮ります。	・手術後10日目に下肢の超音波検査をします。 ・手術後14日目に採血と股関節のレントゲンを撮ります。	・特にありません。
処置	・特にありません。	・血栓予防のために弾性ストッキングを履きます。	・弾性ストッキングの上にフットポンプをつけて帰室します。	・1日2回弾性ストッキングを履き替えます。	・血を抜く管を抜きます。 ・車椅子に乗れたら、フットポンプを外します。	・傷の確認をします。		
教育・説明・指導	・看護師が病棟の設備や手術前後の流れについて説明を行います。 ・入院中は顔や爪の色を確認しますので、髭を剃り、マニキュアや化粧を落として下さい。 ・手術前日に麻酔科の受診があります。 【手術必要物品】 T字帯：1枚 吸い飲みまたはストロー ※売店で購入できます。	・手術について不明点がないか確認します。わからないことがあったら看護師に相談して下さい。 ・入室時間は分かり次第説明します。 ・手術前にT字帯に履きかえ、手術着に着替えます。 ・髪の毛の長い方は、金属が付いていないゴムで左右どちらかにまとめて下さい。 ・入れ歯、眼鏡、補聴器、指輪、時計、ネックレス、ピアス、コンタクトレンズ、かつら、ヘアピンなどは必ず外して下さい。 ・ご家族は医師や看護師と相談した場所で待機して下さい。	・医師よりご家族に手術後の説明があります。 ・手術後は体温や血圧、脈拍、傷の様子、足の動きなどを観察します。 ・手術後の状態は下図を参照して下さい。 ・傷が腫れるのを軽減するために、傷を冷やします。 酸素マスク 点滴尿の管 フットポンプ 又は ストッキング	・退院まで、体温、脈拍、血圧、傷の観察、足の動きなどの確認を行います。		・傷の観察が自分でできるように説明を行います。 ・傷の保護が取れたら、傷の洗い方を説明します。	・退院に向けた日常生活での注意点、症状が変化した時の対応について説明します。 また、自宅で続けるリハビリテーションについても説明します。	・退院日を確認します。 ・必要時医師からの病状説明の場を設けます。 ・退院日に再診表や退院処方薬をお渡しします。 ・不明点があるときには担当医師や看護師にお尋ね下さい。 ・退院の日は午前10時までに退院となります。お会計は退院日に支払うか、誓約書で後日お支払になります。
安静度	・特に制限はありません。 ・転倒しないように靴を着用して下さい。 ・病棟を離れる際には看護師に伝えて下さい。	・手術室までは、 □歩行 □車椅子 で移動します。	・ベッド上で安静になります。 ・寝返りすることはできます。看護師が手伝いますので声をかけて下さい。	・車椅子に移動することができます。 移動する時には看護師がお手伝いをします。	・車椅子での移動ができます。	・歩行の様子やリハビリテーションの状況によって、行動範囲も拡大します。		
食事	・麻酔科の指示により、食事と飲水がとれる時間が決まります。指示をお守り下さい。	・麻酔科の指示により水分制限があります。 ・朝から食事はありません。	・おなかが動き始めたら、お水を飲むことができます。看護師がお手伝いします。	・医師の指示のもと朝から食事が再開予定です。 ・医師の指示がなければ食事の制限はありません。				
排泄	・歩けない方は車椅子でトイレに行けるようにお手伝いします。	・手術予定30分前までにトイレに行きます。	・尿の管が入ってきます。 ・排便の際はベッド上で行いますので、お手伝いします。		・尿の管を抜く予定です。 ・トイレに行くときには車椅子で移動できるようお手伝いします。	・リハビリテーションの状況によって、トイレまで車椅子、または歩いて行きます。		
清潔	・シャワー浴をします。 ・爪が伸びているときには看護師に声をかけて下さい。	・特にありません。	・特にありません。	・体拭きを行い、手術着から病衣に着替えます。 ・尿の管が入っている部分を洗います。		・シャワー浴は体調と傷の様子に合わせて開始となります。 必要時、看護師がお手伝いします。	・リハビリテーションの状況に合わせて、車椅子や歩行器で歯磨きやシャワーなどの退院後の生活に向けた活動ができるよう支援します。	
リハビリテーション	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・理学療法士によるリハビリテーションを開始します。	・歩行器やT字杖など補助具を使用した歩行練習、筋力強化訓練、関節可動域訓練を行います。 ・個人によってメニューは変わります。	・退院に向けて床からの立ち上がりなど日常生活の動作の訓練を行います。退院後も自分でできるリハビリテーションを覚えましょう。	
その他	・煙草は痰が多くなる原因になるので早めに禁煙し入院に備えて下さい。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。	・特にありません。

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。
*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。
*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。